

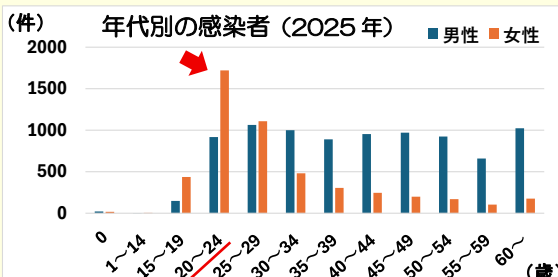
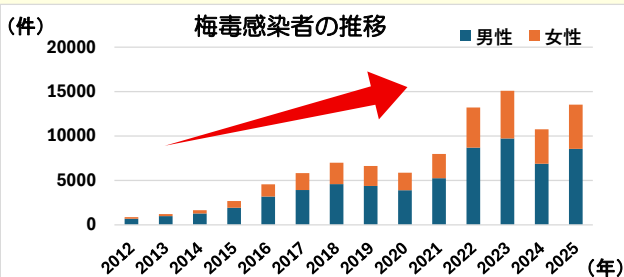
怖い性感染症
梅毒について
知ろう!



ばいどく 梅毒の危険性と検査の重要性

梅毒の感染者数が増えています

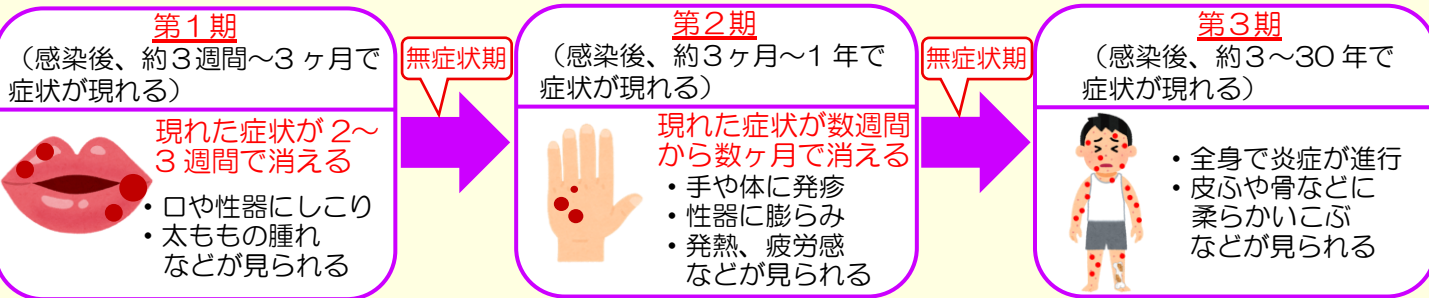
- ・〔左の表〕梅毒感染者の報告件数は、近年急激に増加。
- ・〔右の表〕年代別では、男性は20代前半以降どの年代でも、女性は特に20代前半に多く見られます。



国立感染症研究所
「日本の梅毒症例の
動向について(2026
年1月6日現在)」
をもとに作成

梅毒は死に至ることもある性感染症です

梅毒は、梅毒トレポネーマという病原体により引き起こされる性感染症。主に不特定多数の人との性行為により、口や性器などから感染。病期は第1期から第3期に分けられます。



治療せず放置すると、約3～30年の間に心臓や血管など複数の臓器に異常が起こり、死に至ることもあります。また病気の進行中、一時的に症状が消える「無症状期」があるため、治ったと勘違いする人がいます。自己判断せず、直ぐに治療することが重要です。

性行為の際にコンドームを使用すると高い確率で感染を防ぐことができますが、100%ではありません。

検査で感染の有無が分かります

- 保健所
治療はできませんが、無料・匿名で検査を受けられます。
- 医療機関
費用はかかりますが、検査だけでなく、その日のうちに治療を開始できます。

梅毒は治療で完治可能です。しかし、パートナーも感染していたら、再び梅毒に感染してしまいます。そのため、梅毒に感染したかな?と思ったら、必ずパートナーと一緒に検査や治療を受けてください!



参考：政府広報オンライン「梅毒患者が急増中！検査と治療であなた自身と大切な人、生まれてくる赤ちゃんを守ろう」
病気がみえる vol. 6 第2版 (メディックメディア)

健康やお薬などについて、気になることがある方は、相談薬局・出張相談会で薬剤師に気軽にお尋ねください。

《 一出張相談会 保健室に学校薬剤師が来ます 》
ドラッグレターの内容、医薬品や健康、薬物乱用などについて、相談・聞きたいことがある人は保健室まで！
4月16日(木) 12時15分～13時00分

作成・発行元 北陸大学薬学部
教授 大柳實津夫(学校薬剤師)
准教授 岡本晃典(薬剤師)
5年生 奥村桃花、中野加愛

